

2019年度ミニ企画展 第Ⅱ期

## 若き畦地梅太郎の仲間たち—

### 1930-40年代の日本の版画

2019年6月26日(水)～9月23日(月・祝)

7月6日から9月23日まで企画展示室で開催する「畦地梅太郎・わたしの山男」展に関連して、ミニ企画展「若き畦地梅太郎の仲間たち—1930-40年代の日本の版画」を開催します。

#### I 先輩版画家に学ぶ！

1902年(明治35)に愛媛県宇和島に生まれ育った畦地は、上京して1926年(大正15)に内閣印刷局活版課に就職します。そこで鉛版(紙型から作られる鉛合金製の印刷用の板)を利用した版画を制作し、版画家の平塚運一の賞賛を得て本格的に版画制作に乗り出しました。翌1927年(昭和2)には、当時最も大きな版画団体であった日本創作版画協会の展覧会に入選し、それを機に恩地孝四郎の知遇を得ます。その後内閣印刷局を辞め、平塚、恩地、前川千帆らの作品の摺りを手伝ったり、さまざまな印刷物のカットを制作したりして生活費を捻出し、本格的に版画家としての歩みを始めます。

#### II 国画会の仲間たち

版画の公募展への出品をはじめた畦地は、1928年(昭和3)に平塚が出品していた国画創作協会の展覧会へ初出品します。その後も、改組して国画会となったこの団体展への出品を続け、1937年(昭和12)の第12回展で国画奨学賞を受賞(1940年にも同賞を受賞)、1944年(昭和19)には会員となりました。

このセクションでは、畦地より早い時期に国画会の会員となった平塚(1930年に会員)、川西英(1934年)、恩地(1936年)、棟方志功(1937年)、ワルワーラ・ブブノワ(1937年)、川上澄生(1942年)に加え、畦地と同時期に、さらに戦後1940年代に国画会会員となった版画家たちの作品を展示します。

#### III 版画家との交流—1930年代を中心に

このセクションでは、畦地が同人として参加した『版』と『きつつき』という版画誌、そして大震災から復興した1930年代の新東京の内面を個性的な作風で表現した版画家の作品を中心に展示します。

そのうち藤牧義夫による《(ENOKEN)之図》には「贈畦地兄」と筆書きされ、畦地との親交がうかがえます。東京の街中を放浪しながら制作した谷中安規とは、『白と黒』や『版藝術』などの版画誌を編集発行した料治熊太の家で出会っています。グループ「新版画集団」のリーダーだった小野忠重とは、1936年の日本版画協会展の際に知り合っています。小林朝治は長野県須坂市の眼科医で、版画家として畦地と親交し、その作品を収集していました。なお、『版』同人の坂口右左衛門は、木版画も制作した春陽会出品の画家です。

#### IV 一木会の仲間—『一木集』I(1944年)より

一木会(いちもくかい)は、恩地孝四郎の自宅に集まり、毎月第1木曜日に研究会を開いた畦地ら若手版画家たちのグループで、1939年に始まり、1944年から1950年までに全6集の版画集を発行しました。本セクションには第1集に収められた作品の一部を展示しています。

以上4つのセクションから、若き畦地梅太郎の版画家たちとの交流の足跡を紹介します。その足跡が、1930-40年代の日本の重要な版画史形成につながったといえるでしょう。

#### ◇出品リスト

##### I 先輩版画家に学ぶ！

- 1 平塚運一(ひらつか うんいち、1898-1997)  
東京震災跡風景 芝大門 1925  
木版 21×28.8cm
- 2 平塚運一  
木崎湖 1927  
木口木版 14×24.4cm
- 3 恩地孝四郎(おんち こうしろう、1891-1955)  
水浴 1920頃  
木版 23×16cm 小野忠重コレクション
- 4 恩地孝四郎  
顔 1924  
木版 24×25.6cm 寄託
- 5 前川千帆(まえかわ せんぱん、1888-1960)  
雪の余呉湖 1924  
木版 19.7×23cm 小野忠重コレクション
- 6 前川千帆  
梅林 1927  
木版 19.2×28.5cm 小野忠重コレクション
- 7 畦地梅太郎(あぜち うめたろう、1902-1999)  
郊外早春 1929  
鉛凸版 12.6×17cm 小野忠重コレクション
- 8 畦地梅太郎  
都会風景 1931  
木版 30×36.5cm

##### II 国画会の仲間たち

- 9 平塚運一  
雨の耶馬溪 羅漢寺 1935  
木版 34.8×29.3cm 寄託
- 10 川西英(かわにし ひで、1894-1965)  
古道具屋 1941  
木版 45.4×60.6cm 国画会第16回展出品
- 11 恩地孝四郎  
台北東門 1937  
木版 26×21.9cm
- 12 棟方志功(むなかた しこう、1903-1975)  
二菩薩釈迦十大弟子 富樓那の柵  
木版 101.5×38cm 国画会第15回展出品
- 13 ワルワーラ・ブブノワ(1886-1983)  
ひなげし 1930年代  
リトグラフ、手彩色 45.5×30cm
- 14 川上澄生(かわかみ すみお、1895-1972)  
新東京百景 浅草公園 カジノフォーリー 1930  
木版 18×23.9cm 小野忠重コレクション
- 15 畦地梅太郎  
大野原遠望 1940  
木版 29×40.7cm 国画会第15回展出品
- 16 前田政雄(まえだ まさお、1904-1974)  
南国風景 1930年代  
木版 35.4×47.9cm

- 17 下澤木鉢郎 (しもざわ きはちろう、1901-1986)  
象潟の冬 1949  
木版 30×39.4cm 国画会第 23 回展出品
- 18 関野準一郎 (せきの じゅんいちろう、1914-1988)  
楽屋の文五郎 1947  
木版 74×47.5cm 国画会第 21 回展出品
- 19 橋本興家 (はしもと おきいえ、1899-1993)  
城 (名古屋) 1937  
木版 35.6×43cm 国画会第 12 回展出品
- 20 山口源 (やまぐち げん、1896-1976)  
木ノ葉 (『一木集』IV) 1948  
木版 35.4×27.4cm
- 21 笹島喜平 (ささじま きへい、1906-1993)  
春苑逍遥 1941  
木版 38.1×53cm 国画会第 16 回展出品
- 22 斎藤清 (さいとう きよし、1907-1997)  
牛 1941 頃  
木版 20.5×32cm 小野忠重コレクション
- 23 品川工 (しながわ たくみ、1908-2009)  
海辺の幻想 1948  
木版 39.5×33.2cm 国画会第 22 回展出品

### Ⅲ 版画家との交流—1930年代を中心に

- 24 坂口右左視 (さかぐち うさみ、1895-1937)  
おどり (版画誌『版』1号) 1927.12  
木版 16.5×11.6cm (冊子 29.6×20.8cm)
- 25 平塚運一  
版画誌『きつつき』2号・銀座号 表紙 1930.9  
木版 26.5×19.5cm (冊子)
- 26 畦地梅太郎  
尾張町の一角 (『きつつき』2号・銀座号) 1930  
木版 17.2×13.5cm
- 27 畦地梅太郎  
男 1931  
木版 27.2×21.3 小野忠重コレクション
- 28 藤牧義夫 (ふじまき よしお、1911-1935 行方不明)  
ENOKEN 之図 1934  
木版 25×34cm
- 29 小野忠重 (おの ただしげ、1909-1990)  
ジャズを回る人々 1934  
木版 47.4×60.9cm 小野忠重コレクション
- 30 谷中安規 (たになか やすのり、1897-1946)  
蝶を吐く人 (『白と黒』41号) 1933  
木版 15.7×16.9cm
- 31 小林朝治 (こばやし あさじ、1898-1939)  
熊の湯雪景 1934  
木版 31.2×40.4cm 小野忠重コレクション

### Ⅳ 一木会の仲間 —『一木集』I (1944年) より

- 32 『一木集』I 寄せ書き  
筆 28×36.2 (紙) cm
- 33 恩地孝四郎  
海の見える窓  
木版 35.4×27.6cm
- 34 関野準一郎  
恩地孝四郎像  
木版 35.4×27.3cm

- 35 川西英  
池ノ畔  
木版 21.1×14.8cm
- 36 山口進 (1897-1982)  
登山家  
木版 27.8×23.5cm
- 37 山口源  
蜩  
木版 35.4×27.6cm
- 38 加藤太郎 (かとう たろう、1915-1945)  
四つ葉  
木版 35.4×27.6cm
- 39 根市良三 (ねいち りょうぞう、1914-1947)  
貝とバラ  
木版 24.2×21cm
- 40 杉原正巳 (すぎはら まさみ、1913-1946)  
馬鈴薯の花  
木版 35.4×27.6cm
- 41 畦地梅太郎  
苦力の女房  
木版 35.5×27.6cm
- 42 若山八十氏 (わかやま やそうじ、1903-1983)  
新緑  
孔版 35.4×27.4cm
- 43 谷口薫美 (たにぐち くんび、1909-1964)  
山門  
木版 35.4×27.7cm
- 44 木村版兵 (きむら はんべえ、生没年不詳)  
梅  
木版 35.4×27.6cm

\*「小野忠重コレクション」は当館に寄贈された小野忠重旧蔵作品。

#### □畦地梅太郎コーナー

- 火山 (『きつつき版画集』昭和 17 年版)  
1942 木版 11.6×14.8cm
- 山 (『一木集』II) 1946 木版 23×20.3cm
- 赤い表紙 (『一木集』III) 1947 木版 21.4×13cm
- 子供 (『一木集』IV) 1948 木版 25.3×17cm

#### □浮世絵玉手箱

一鶯斎芳梅 (いちおうさい よしうめ、1819-1879)

滑稽浪花名所 なにはばし  
安政後期 (1857-60) 頃 中判錦絵

滑稽浪花名所 蛸の松  
安政後期 (1857-60) 頃 中判錦絵

滑稽浪花名所 四ツ橋  
安政後期 (1857-60) 頃 中判錦絵